

美術館からみる栃尾の風景

The view from an art museum

美術館のテラスからは栃尾の街が一望できます。



三十三所観音

美術館とその周辺

An art museum and the outskirts

三十三所観音・謙信廟・謙信公像



門察和尚の墓

【謙信廟と門察和尚の墓】

美術館の敷地内には大正4年、山形県米沢市の上杉家より分霊して祀った御廟所があります。謙信廟の左側の碑は謙信が栃尾に在城した時代の学問の師、門察和尚の墓と言われています。門察和尚は瑞麟寺5世として常安寺を開山しました。背景には栃尾城址、本丸跡が見えます。



【三十三所観音】

西国三十三所巡りの各寺院の本尊仏を石仏にしたものです。かつて秋葉神社から美術館まで続く七曲の坂道に並んでおり、参拝することで三十三所巡りの代りとなりました。現在は美術館の敷地内に移されています。



謙信廟

【ふたつの謙信公像】

秋葉公園と美術館、徒歩5分以内にふたつの謙信公像があります。どっしりとした風格ある座像と、颯爽と太刀を掲げる騎乗姿、いずれも背景に栃尾城址を眺めることができます。赴きの異なるふたつの謙信公像を見比べてみませんか。



金子直裕制作(1965年建立)の像。台座の謙信公の文字は時の大蔵大臣、田中角栄氏によるもの。



米納宗宏制作(1995年建立)の像。台座の上杉謙信の文字は石坂浩二氏によるもの。



北

秋葉神社と栃尾の市街地

美術館の前庭から見る栃尾の風景は、周囲を囲む豊かな山林と、河川に沿った町並みが特長です。向かって左に見える西谷川と右に見える刈谷田川が町の中央で合流します。美術館の眼前には火防の神として有名な秋葉神社があります。境内は公園となっており、栃尾城址を背にした謙信公の像、句碑などがあり、憩いの場として親しまれてきました。公園内の百二十七段の石段は、上杉謙信によって創建された古刹、常安寺へと続きます。



西 謙信ゆかりの栃尾城址を臨む

栃尾城址【鶴城山】(新潟県指定文化財)

栃尾城が築城されていた鶴城山(かくじょうやま)は標高227.7m。地元の人々は親しみをこめて城山(しろやま)とよんでいます。美術館の前庭から山頂に見える二本の木が本丸跡の目印です。本丸跡へは栃尾表町、栃尾山田町などから登ることができ、晴れた日には守門岳や佐渡、弥彦山などを眺めることができます。



上杉謙信(長尾景虎)は14歳から6年間この栃尾城で過ごしました。栃尾城は、険しい地形を利用してつくられた中世山城の一つです。大空壕や千人溜り、馬場跡などがあり、いまでも戦国時代の山城の遺構をみることができます。